

平成24年決算特別委員会において「検討する」旨答弁した事項の 検討状況について

生活環境部

「検討する」旨の答弁を行った事項 (所管課)	そ の 後 の 検 討 状 況
<p>【質問要旨 菅原（博）委員】 八郎湖の水質改善のため様々なことをやっているが、藻場は形成されているのか。</p> <p>【答弁要旨 八郎湖環境対策室長】 藻場のもととなる消波堤等の整備を実施しており、水草が一部回復する例も見られるが、平成24年の夏場の天候等によりダメージも受けている。どのような対策をとっていけばよいのか、検討していきたい。（八郎湖環境対策室）</p>	<p>藻場（沈水植物）の回復に向け、平成24年度から県立大学の専門家に委託し、消波堤内における生育状況の調査や、管理手法の検討等を行っている。</p> <p>今年度は、生育に適した水深や波浪の影響等の条件を探るとともに、苗の移植なども行い、藻場の形成に努めることとしている。</p>
<p>【質問要旨 丸の内委員】 バイオエタノールの実用化可能性について、今後どのように製造・利活用をするのか。</p> <p>【答弁要旨 温暖化対策課長】 バイオエタノールの製造・実証実験の成果を実用化レベルまでもっていくには課題も多く、ガソリン流通部分への参入のハードルも高い。農業機械へのバイオ燃料の普及、農業面への流通についても検討を加えていきたい。（温暖化対策課）</p>	<p>本年3月に「バイオエタノール実証試験成果報告会」を開催し、木材や稲わらを使用したバイオエタノールの製造、自動車や農機具による走行実験などの成果を発表し、情報の共有化を図った。</p> <p>今年度は、行政、大学、バイオ燃料の製造企業、石油関係団体等による協議会（バイオエタノール推進会議）を開催し、県内でのバイオ燃料の普及、利用促進に向けた課題の検討などを行うこととしている。</p>
<p>【質問要旨 北林（丈）委員】 稲わらからバイオエタノールを製造する可能性は極めて低いと考えるが、実用化可能性を検討した結果はどうだったのか。</p> <p>【答弁要旨 温暖化対策課長】 製造の可能性は確認できたが、製造コスト、流通面など課題が多い。今後の対応として、関東や関西ではガソリンに3%混合した「E3」燃料の流通も始まっているので、本県でもそうしたことについて検討したい。（温暖化対策課）</p>	<p>ガソリンにバイオエタノールを混合した燃料は、本県を除く20都道府県のガソリンスタンドで販売されている。今年度、行政、大学、バイオ燃料の製造企業、石油関係団体等による協議会（バイオエタノール推進会議）の場において、県内で「E3」燃料を流通させるための課題等について整理することとする。</p>

「検討する」旨の答弁を行った事項 (所管課)	その後の検討状況
<p>【質問要旨 武田委員】 能代産業廃棄物処理センターの未収金回収について、未収金に金利はかかっているのか。</p> <p>【答弁要旨 環境整備課長】 元金がまだ完済していないので金利の計算はできず、今のところ算定していない。実際、金利を上乗せしても入る可能性がないので、それについては検討課題かと考えている。(環境整備課)</p>	<p>金利(延滞金)は、元金(行政代執行費用等)が完納された場合に確定するものであり、元金が完納されていない現状において賦課することは困難である。</p> <p>今後も、財産調査を行うこと等により、引き続き元金の回収に努めていく。</p>
<p>【質問要旨 大関委員】 秋田八幡平クマ牧場の立入検査に関連して、行政指導になかなか従わない施設について決算特別委員会の場で公表してはどうか。</p> <p>【答弁要旨 生活環境部長】 個人情報の問題もあるし、他県の状況も詳しくは承知していないので、今後研究してみたいと思う。(生活衛生課)</p>	<p>動物愛護管理法に関し、行政指導に従わない者を公表した全国の事例としては、動物の遺棄や虐待等を行った動物取扱業者に対し、業務停止命令等の行政処分を行い、その事実を公表した事例はあるが、行政指導の段階で業者名等を公表した事例はないことから、公表は難しいものと考えている。</p> <p>なお、旧秋田八幡平クマ牧場の事故を踏まえ、特定動物飼養許可施設の立入検査に係るマニュアルを策定するとともに、不適切な事項の改善を求める際には、文書により指導することを徹底するなど、事故の再発防止に努めている。</p>